

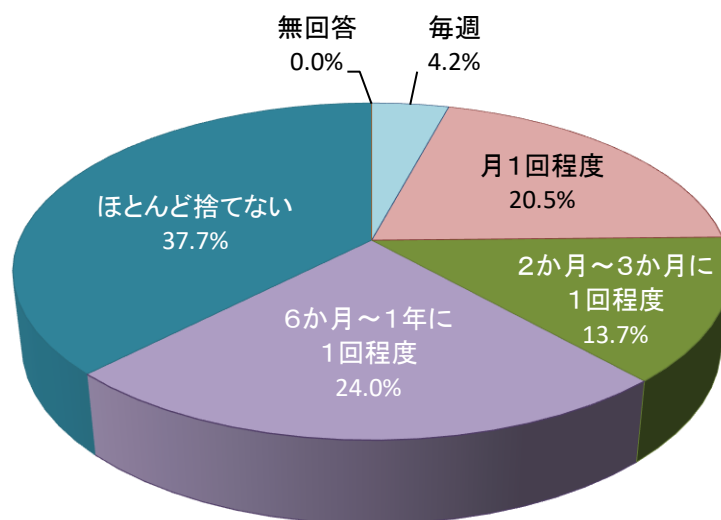
## 17. 食品ロスの削減について

(1) 未使用、未開封の食品を、焼却ごみとして捨てたことの有無

### ◇ 「ほとんど捨てない」が4割弱

| 問65 | ご家庭で、未使用、未開封の食品を、何らかの理由で焼却ごみとして捨てたことがありますか。あてはまるものを1つお選びください。(○は1つ) | n=409 |
|-----|---|-------|
| 1   | 毎週  | 4.2%  |
| 2   | 月1回程度   | 20.5% |
| 3   | 2か月～3か月に1回程度  | 13.7% |
| 4   | 6か月～1年に1回程度   | 24.0% |
| 5   | ほとんど捨てない  | 37.7% |
|     | (無回答)   | 0.0%  |

<図IV-17-1>全体



n=409

未使用、未開封の食品を、焼却ごみとして捨てたことの有無については、「ほとんど捨てない」が37.7%で最も高く、次いで「6か月～1年に1回程度」24.0%、「月1回程度」20.5%と続いている(図IV-17-1)

<参考>

性別・年齢別で見ると、「ほとんど捨てない」は<女性/20歳代>が50.0%で最も高く、<男性/60歳代>が47.2%と続いている。一方、「6か月～1年に1回程度」は<女性/60歳代>が45.9%で最も高く、次いで<男性/50歳代>が32.3%と続いている。(図IV-17-2)

職業別で見ると、「ほとんど捨てない」は<その他>を除くと<無職>が49.4%で最も高く、次いで<専門職>が46.7%であった。一方、「6か月～1年に1回程度」は<管理職>が41.2%で最も高く、<家事に専念している主婦、主夫>が35.0%と続いている。(図IV-17-2)

家族構成別で見ると、「ほとんど捨てない」は<ひとり暮らし(単身世帯)>が45.3%で最も高く、次いで<親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)>が40.0%であった。一方、「6か月～1年に1回程度」は<親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)>が35.0%で最も高く、次いで<夫婦のみ(一世代世帯)>が29.1%であった。(図IV-17-2)

<図IV-17-2>性別・年齢別／職業別／家族構成別

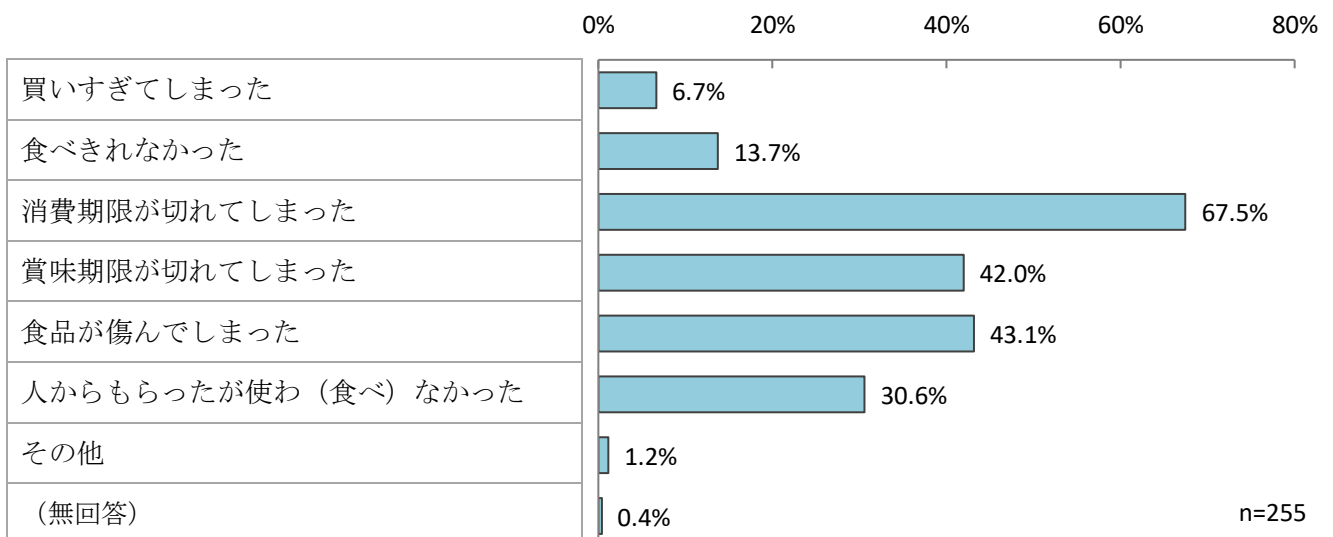


(2) 捨てた理由

◇ 「消費期限が切れてしまった」が7割弱

|     |  |              |
|-----|--|--------------|
| 問66 | 問65で1～4と答えた方にお聞きします。捨ててしまった理由について、あてはまるものをすべてお選びください。<br>(〇はいくつでも) | n=255        |
| 1   | 買いすぎてしまった  | 6.7%         |
| 2   | 食べきれなかった   | 13.7%        |
| 3   | 消費期限が切れてしまった   | 67.5%        |
| 4   | 賞味期限が切れてしまった   | 42.0%        |
| 5   | 食品が傷んでしまった   | 43.1%        |
| 6   | 人からもらったが使わ(食べ)なかった   | 30.6%        |
| 7   | その他<br>(無回答)   | 1.2%<br>0.4% |

<図IV-17-3>全体



捨てた理由については、「消費期限が切れてしまった」が67.5%で最も高く、次いで「食品が傷んでしまった」が43.1%、「賞味期限が切れてしまった」が42.0%と続いている。(図IV-17-3)

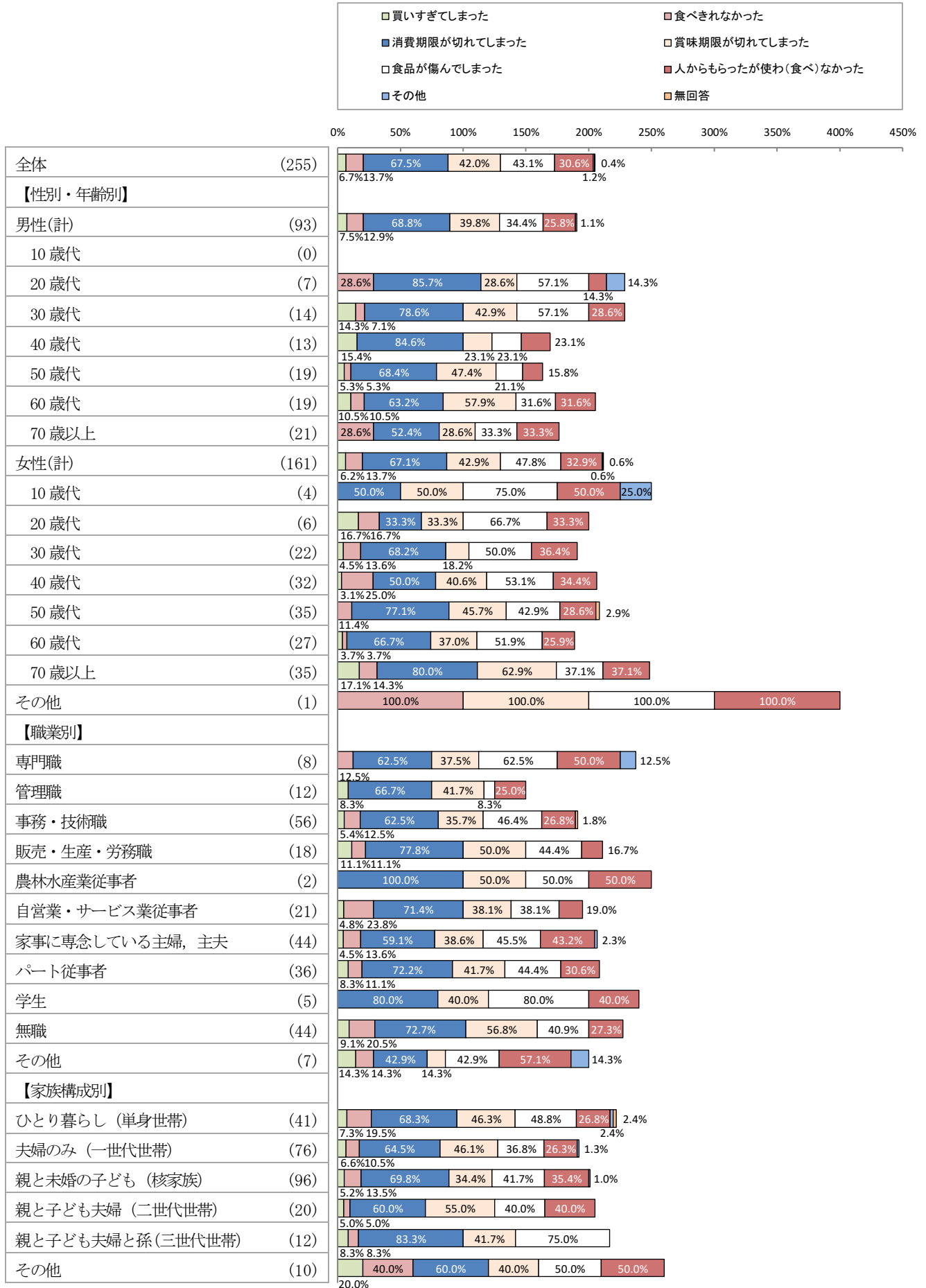
<参考>

性別・年齢別で見ると、「消費期限が切れてしまった」は<男性/20歳代>が85.7%で最も高く、<男性/40歳代>が84.6%と続いている。「食品が傷んでしまった」は<その他>が100.0%で最も高く、次いで<女性/10歳代>が75.0%と続いている。(図IV-17-4)

職業別で見ると、「消費期限が切れてしまった」は<農林水産業従事者>が100.0%で最も高く、次いで<学生>が80.0%であった。「食品が傷んでしまった」は<学生>が80.0%で最も高く、<専門職>が62.5%と続いている。(図IV-17-4)

家族構成別で見ると、「消費期限が切れてしまった」は<親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>が83.3%で最も高く、次いで<親と未婚の子ども(核家族)>が69.8%であった。「食品が傷んでしまった」は<親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>が75.0%で最も高く、次いで<その他>を除くと<ひとり暮らし(単身世帯)>が48.8%であった。(図IV-17-4)

<図IV-17-4>性別・年齢別／職業別／家族構成別

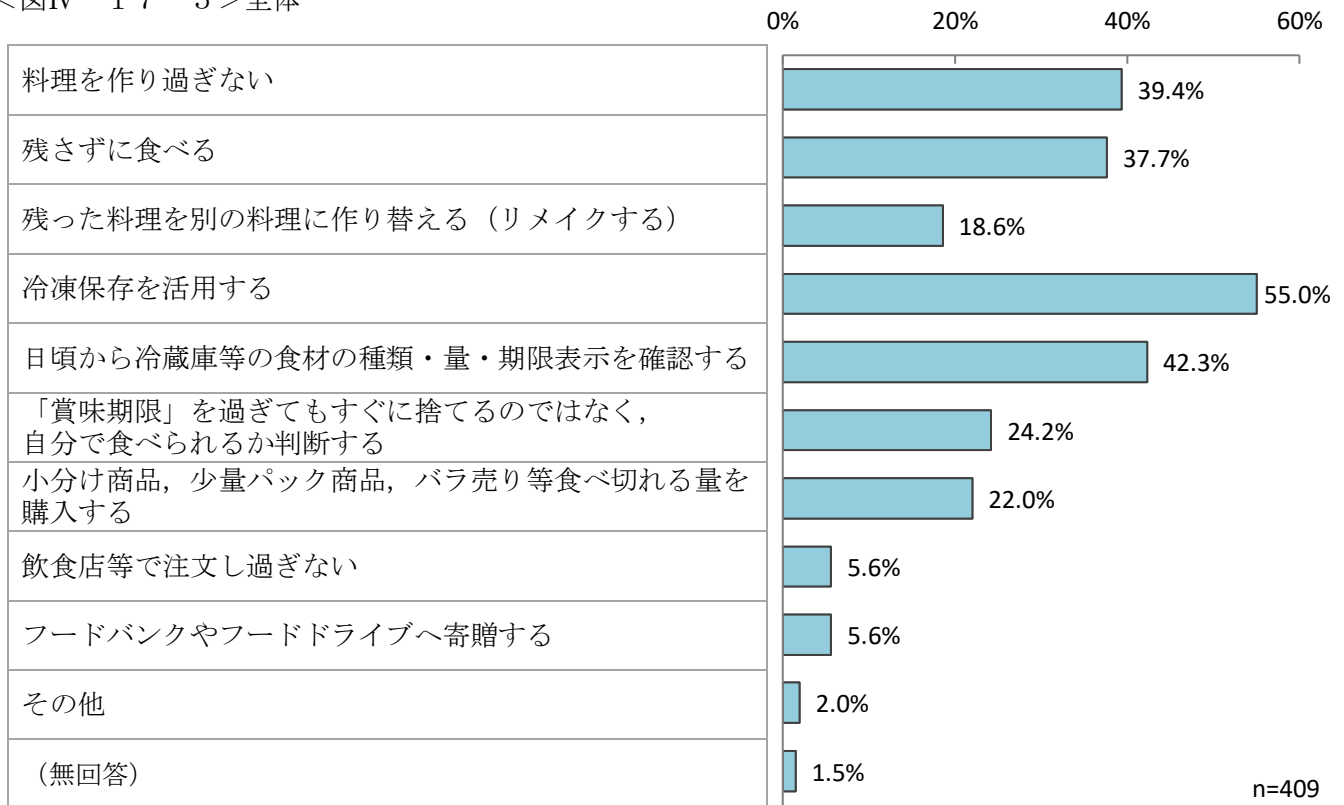


(3) 「食品ロス」を減らすために効果があると思うこと

◇ 「冷凍保存を活用する」が5割半ば

|     |  |       |
|-----|--|-------|
| 問67 | 「食品ロス」を減らすために効果があると思うことについて、あてはまるものをすべてお選びください。<br>(〇はいくつでも) | n=409 |
| 1   | 料理を作り過ぎない  | 39.4% |
| 2   | 残さずに食べる  | 37.7% |
| 3   | 残った料理を別の料理に作り替える(リメイクする)                                     | 18.6% |
| 4   | 冷凍保存を活用する  | 55.0% |
| 5   | 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する。                                  | 42.3% |
| 6   | 「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する                         | 24.2% |
| 7   | 小分け商品, 少量パック商品, バラ売り等食べ切れる量を購入する                             | 22.0% |
| 8   | 飲食店等で注文し過ぎない   | 5.6%  |
| 9   | フードバンクやフードドライブへ寄贈する  | 5.6%  |
| 10  | その他  | 2.0%  |
|     | (無回答)  | 1.5%  |

<図IV-17-5>全体



「食品ロス」を減らすために効果があると思うことについては、「冷凍保存を活用する」が55.0%で最も高く、次いで「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」が42.3%が続いている。(図IV-17-5)

<参考>

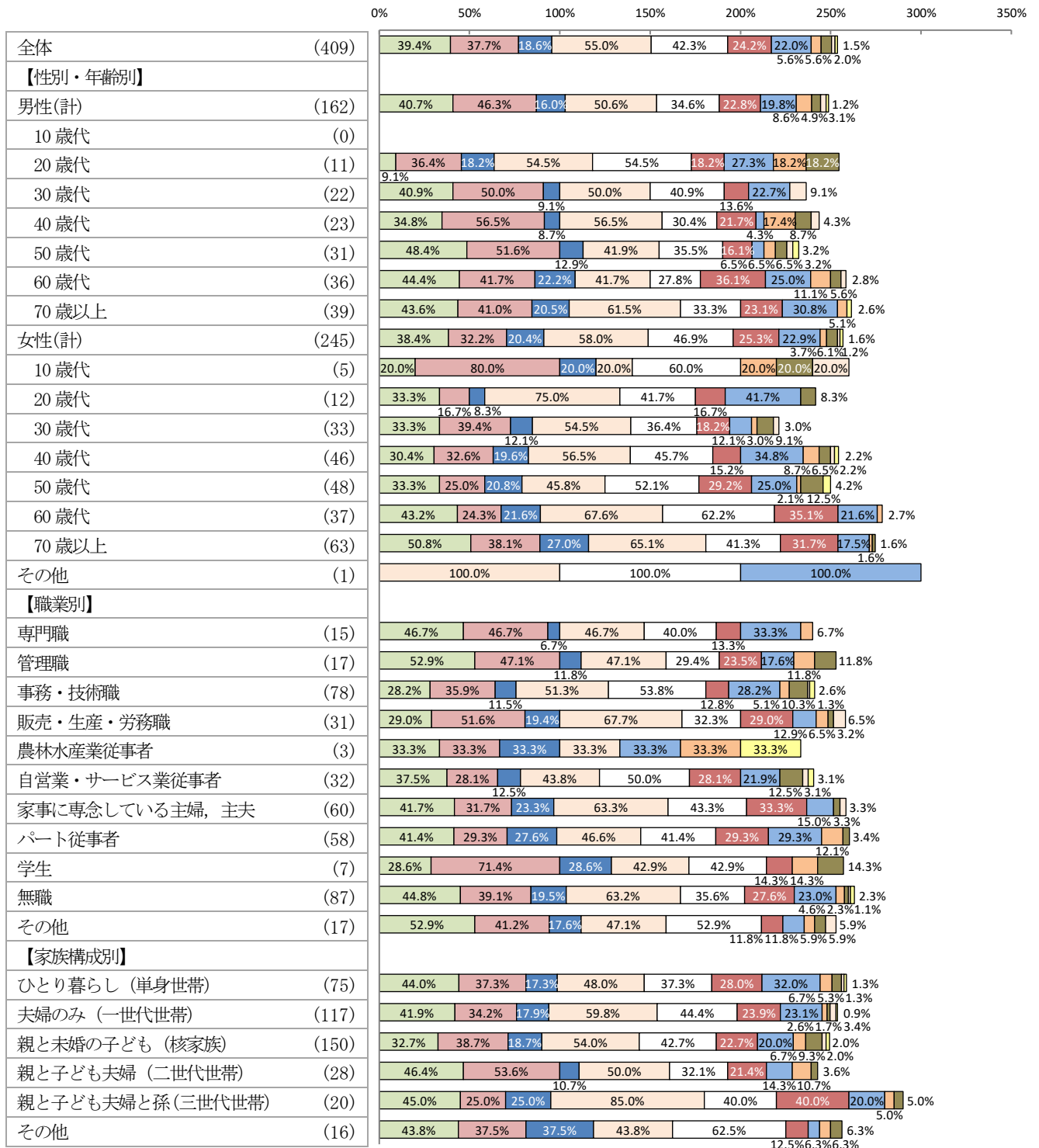
上位6項目について性別・年齢別で見ると、「冷凍保存を活用する」は<その他>が100.0%で最も高く、次いで<女性/20歳代>が75.0%と続いている。「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」は<その他>が100.0%で最も高く、次いで<女性/60歳代>が62.2%と続いている。(図IV-17-6)

職業別で見ると、「冷凍保存を活用する」は<販売・生産・労務職>が67.7%で最も高く、次いで<家事に専念している主婦，主夫>が63.3%と続いている。「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」は<事務・技術職>が53.8%で最も高く、<自営業・サービス業従事者>が50.0%と続いている。(図IV-17-6)

家族構成別で見ると、「冷凍保存を活用する」は<親と子ども夫婦と孫（三世代世帯）>が85.0%で最も高く、次いで<夫婦のみ（一世代世帯）>が59.8%と続いている。「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」は<その他>を除くと<夫婦のみ（一世代世帯）>が44.4%で最も高く、次いで<親と未婚の子ども（核家族）>が42.7%と続いている。(図IV-17-6)

<図IV-17-6>性別・年齢別／職業別／家族構成別

- 料理を作り過ぎない
- 残さずに食べる
- 残った料理を別の料理に作り替える(リメイクする)
- 冷凍保存を活用する
- 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する。
- 「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する
- 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べ切れる量を購入する
- 飲食店等で注文し過ぎない
- フードバンクやフードドライブへ寄贈する
- その他
- 無回答



<図IV-17-7>性別・年齢別／家族構成別／居住年数別（上位6項目）

